

問1 (文理共通)

(1) 8人を区別のない4組の2人組(ハ〇ア)に分ける方法は  $\frac{8!}{2!2!2!2!}$  通りあり、これは求める場合の数  $n$  の  $4!$  倍であるから

$$n = \frac{8!}{2^4 \cdot 4!} = \frac{8 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5}{2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2} = 7 \cdot 3 \cdot 5 = 105.$$

$$105 = 100 \times 1 + 5 \text{ より,}$$

$n$  を  $100$  で割った商は  $\boxed{1}$  であり、余りは  $\boxed{5}$  である。... (7)(1)(答)

(2) <じ引き前の4組が

$$\underbrace{a_1 \text{ と } a_2}_A, \underbrace{b_1 \text{ と } b_2}_B, \underbrace{c_1 \text{ と } c_2}_C, \underbrace{d_1 \text{ と } d_2}_D$$

であったとする。

<じ引き後、4組を作る方法は全部で  $n (= 105)$  通りある。

このうち、

<じ引き前と同じメンバーである組が長組のみとなる場合の数は

- $k=4$  のとき 1 通り
  - $k=3$  のとき 0 通り
  - $k=2$  のとき  $4 \cdot \underline{C_2} \times 2 = 12$  (通り)
    - (A~Dから2組選ぶ) (残り2組の分け方)
  - $k=1$  のとき  $4 \cdot \underline{C_1} \times 4 \times 2 = 32$  (通り)
    - (A~Dから1組選ぶ) (残り3組の分け方)
- (例. A, Bが<じ引き前と同じメンバーかつ  $c_1, a_2$  は  $d_1, d_2$  の2通り.)
- (例. Aが<じ引き前と同じメンバーかつ  $b_1, a_2$  は  $c_1, c_2, d_1, d_2$  の4通り  
さらに、 $b_1, a_2$  が  $c_1$  のとき  $b_2$  のハ〇アは  $d_1, d_2$  の2通り.)

余事象を考えると、求める確率は

$$1 - \frac{1+12+32}{105} = 1 - \frac{3}{7} = \frac{\boxed{4}}{\boxed{7}}$$

... (4)(7)(答)

【問1】(文理共通)(つづき)

別解

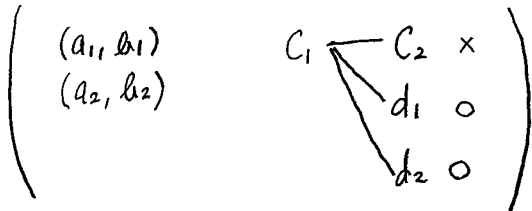
(2) 8人のメンバーを  $a_1, a_2, b_1, b_2, c_1, c_2, d_1, d_2$  とする。

最初に  $(a_1, a_2), (b_1, b_2), (c_1, c_2), (d_1, d_2)$  という4組ができていたとする。

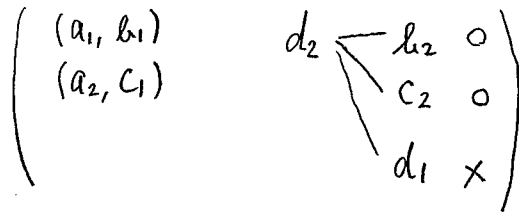
次の作業に取り組むペアを作るためにくじ引きをしたとき、 $a_1$  が  $a_2$  以外のメンバーとペアになる確率は  $\frac{6}{7}$  である。

例えば、 $a_1$  と  $b_1$  がペアになったとき、 $a_2$  は誰とペアになってもよい。

- 例えば、 $a_2$  と  $b_2$  がペアとなると、残ったメンバーは  $c_1, c_2, d_1, d_2$  で、 $c_1$  は  $c_2$  以外の2人のうちのどちらか1人とペアになれば条件をみたし、その確率は  $\frac{2}{3}$  である。



- 例えば、 $a_2$  と  $c_1$  がペアとなると、残ったメンバーは  $b_2, c_2, d_1, d_2$  で、 $d_2$  は  $d_1$  以外の2人のうちのどちらか1人とペアになれば条件をみたし、その確率も  $\frac{2}{3}$  である。



したがって 求める確率は、

$$\frac{6}{7} \cdot \frac{2}{3} = \frac{4}{7}$$

...ウエ(答)

【問2】 (文理共通)

(1) 真数条件より  $y > 0, x - 2 > 0, \frac{1}{8-x} > 0$

これより,

$$y > 0, 2 < x < 8 \quad \dots\dots ①$$

このとき,

$$\begin{aligned} \log_4 y + \log_4(x-2) + \log_4 \frac{1}{8-x} &\geq -1 \\ \log_4 y + \frac{\log_4(x-2)}{\log_4 \frac{1}{4}} - \log_4(8-x) &\geq -1 \\ \log_4 y - \log_4(x-2) - \log_4(8-x) &\geq \log_4 \frac{1}{4} \\ \log_4 y &\geq \log_4 \frac{1}{4} + \log_4(x-2) + \log_4(8-x) \\ \log_4 y &\geq \log_4 \frac{1}{4}(x-2)(8-x) \end{aligned}$$

底  $4 > 1$  より,

$$\begin{aligned} y &\geq \frac{1}{4}(x-2)(8-x) \\ y &\geq -\frac{1}{4}(x-2)(x-8) \quad \dots\dots ② \end{aligned}$$

また,

$$\begin{aligned} 2^{y+x^2+11} &\leq 1024^{x-1} \\ 2^{y+x^2+11} &\leq (2^{10})^{x-1} = 2^{10x-10} \end{aligned}$$

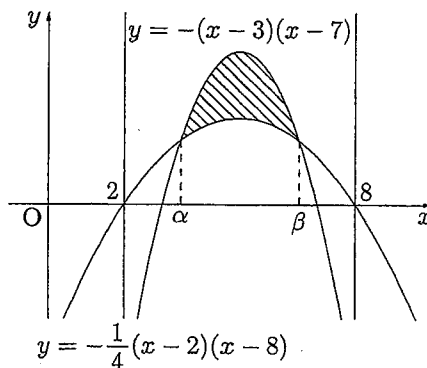
底  $2 > 1$  より,

$$\begin{aligned} y + x^2 + 11 &\leq 10x - 10 \\ y &\leq -x^2 + 10x - 21 \\ y &\leq -(x-3)(x-7) \quad \dots\dots ③ \end{aligned}$$

以上, ①~③ を図示すると下図斜線部分を得る.

$y = -\frac{1}{4}(x-2)(x-8), y = -(x-3)(x-7)$  を連立して,

$$\begin{aligned} -\frac{1}{4}(x-2)(x-8) &= -(x-3)(x-7) \\ -\frac{1}{4}(x^2 - 10x + 16) &= -(x^2 - 10x + 21) \\ x^2 - 10x + 16 &= 4x^2 - 40x + 84 \\ 3x^2 - 30x + 68 &= 0 \\ x &= \frac{15 \pm \sqrt{15^2 - 3 \cdot 68}}{3} = \frac{15 \pm \sqrt{21}}{3} \end{aligned}$$



【問2】 (文理共通)(つづき)

そこで,  $\alpha = \frac{15 - \sqrt{21}}{3}$ ,  $\beta = \frac{15 + \sqrt{21}}{3}$ , 題意の面積を  $S$  とすると,

$$\begin{aligned} S &= \int_{\alpha}^{\beta} \left\{ -(x-3)(x-7) + \frac{1}{4}(x-2)(x-8) \right\} dx \\ &= -\frac{3}{4} \int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)(x-\beta) dx \\ &= -\frac{3}{4} \left\{ -\frac{1}{6}(\beta-\alpha)^3 \right\} \\ &= \frac{1}{8} \left( \frac{15 + \sqrt{21}}{3} - \frac{15 - \sqrt{21}}{3} \right)^3 \\ &= \frac{1}{8} \left( \frac{2\sqrt{21}}{3} \right)^3 = \frac{7\sqrt{21}}{9} \end{aligned}$$

...オカキ (答)

(2) 図のように角  $\theta$  を定める. 余弦定理より,

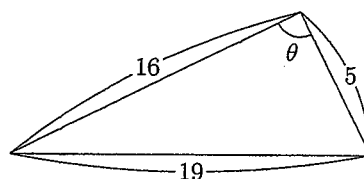
$$\cos \theta = \frac{16^2 + 5^2 - 19^2}{2 \cdot 16 \cdot 5} = -\frac{1}{2}$$

となるから  $\theta = \frac{2}{3}\pi$

よって, 求める面積を  $S$  とすると,

$$S = \frac{1}{2} \cdot 16 \cdot 5 \cdot \sin \frac{2}{3}\pi = 20\sqrt{3}$$

...クケ (答)



別解

$s = \frac{5+16+19}{2} = 20$  とするとき, ヘロンの公式より,

$$\begin{aligned} S &= \sqrt{s(s-5)(s-16)(s-19)} \\ &= \sqrt{20 \cdot 15 \cdot 4 \cdot 1} = 20\sqrt{3} \end{aligned}$$

...クケ (答)

(3)  $2021_{(n)} = 2n^3 + 2n + 1$  である. 各位の数が 2 以下より  $n \geq 3$  であるから,  $n$  の値が小さいものから順に調べていく.

(i)  $n = 3$  のとき

$$2021_{(3)} = 2 \cdot 3^3 + 2 \cdot 3 + 1 = 61 (\text{素数})$$

(ii)  $n = 4$  のとき

$$2021_{(4)} = 2 \cdot 4^3 + 2 \cdot 4 + 1 = 137 (\text{素数})$$

(iii)  $n = 5$  のとき

$$2021_{(5)} = 2 \cdot 5^3 + 2 \cdot 5 + 1 = 261 = 3 \cdot 87$$

であるから,  $2021_{(n)}$  が素数である最小の  $n$  は  $n = 3$

...コ (答)

また,  $2021_{(n)}$  が合成数である最小の  $n$  は  $n = 5$

...サ (答)

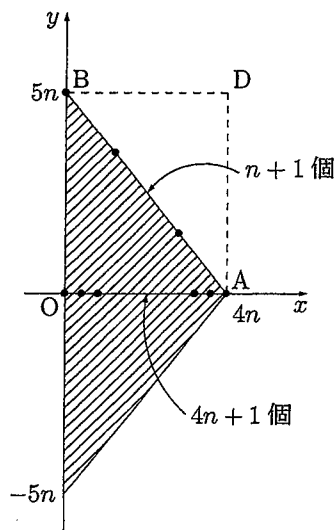
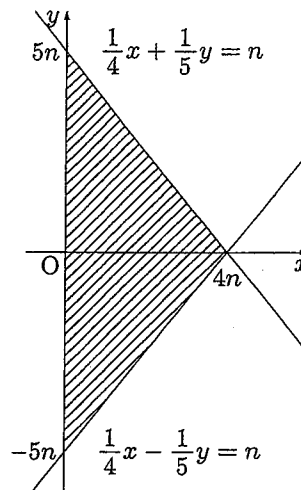
【問3】(文理共通)

$\frac{1}{4}x + \frac{1}{5}|y| \leq n$  について,

(i)  $y \geq 0$  のとき  
 $\frac{1}{4}x + \frac{1}{5}y \leq n$

(ii)  $y \leq 0$  のとき  
 $\frac{1}{4}x - \frac{1}{5}y \leq n$

これと  $x \geq 0$  をあわせると, 連立不等式  $\begin{cases} x \geq 0 \\ \frac{1}{4}x + \frac{1}{5}|y| \leq n \end{cases}$  を満たす領域は右図斜線部分 (境界含む) である.



このうち  $y \geq 0$  の範囲における格子点の個数を  $S$  とする. 線分  $AB$  上には全部で  $n+1$  個の格子点が存在することに注意して, 長方形  $OADB$  の周および内部に存在する格子点の個数を考えると,

$$\begin{aligned} (4n+1)(5n+1) &= S + S - (n+1) \\ 20n^2 + 9n + 1 + n + 1 &= 2S \\ S &= 10n^2 + 5n + 1 \end{aligned}$$

以上から, 求める個数は

$$\begin{aligned} S + S - (4n+1) &= 2(10n^2 + 5n + 1) - (4n+1) \\ &= \boxed{20}n^2 + \boxed{6}n + \boxed{1} \end{aligned} \quad \dots \text{スセソ (答)}$$

特に  $n=1$  のときは  $20+6+1=\boxed{27}$  ...シ (答)

問3 (文理共通) (つっこい)

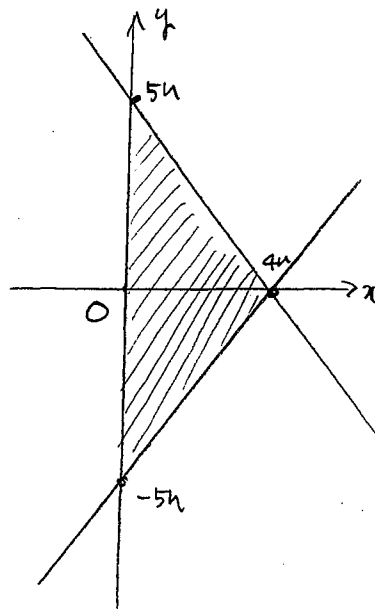
(別解)

$$\begin{cases} x \geq 0 & \dots ① \\ \frac{1}{4}x + \frac{1}{5}|y| \leq n & \dots ② \end{cases}$$

②  $\Leftrightarrow |y| \leq \frac{5}{4}(4n-x)$

$\Leftrightarrow \frac{5}{4}(x-4n) \leq y \leq \frac{5}{4}(4n-x)$

①かつ②の表す領域は、図の斜線部分 (境界含む)



(i) 直線  $x=4k$  ( $k=0, 1, 2, \dots, n$ ) 上の格子点の個数は

$\frac{5}{4}(4k-4n) \leq y \leq \frac{5}{4}(4n-4k)$ , 可なり  $5(k-n) \leq y \leq 5(n-k)$

よ)  $\{5(n-k)\} \times 2 + 1 = 10(n-k) + 1$

(ii) 直線  $x=4k-3$  ( $k=1, 2, \dots, n$ ) 上の格子点の個数は

$\frac{5}{4}(4k-3-4n) \leq y \leq \frac{5}{4}(4n-4k+3)$  可なり  $5(k-n) - \frac{15}{4} \leq y \leq 5(n-k) + 3 + \frac{3}{4}$

よ)  $\{5(n-k) + 3\} \times 2 + 1 = 10(n-k) + 7$

(iii) 直線  $x=4k-2$  ( $k=1, 2, \dots, n$ ) 上の格子点の個数は

$\frac{5}{4}(4k-2-4n) \leq y \leq \frac{5}{4}(4n-4k+2)$  可なり  $5(k-n) - \frac{5}{2} \leq y \leq 5(n-k) + 2 + \frac{1}{2}$

よ)  $\{5(n-k) + 2\} \times 2 + 1 = 10(n-k) + 5$

(iv) 直線  $x=4k-1$  ( $k=1, 2, \dots, n$ ) 上の格子点の個数は

$\frac{5}{4}(4k-1-4n) \leq y \leq \frac{5}{4}(4n-4k+1)$  可なり  $5(k-n) - \frac{5}{4} \leq y \leq 5(n-k) + 1 + \frac{1}{4}$

よ)  $\{5(n-k) + 1\} \times 2 + 1 = 10(n-k) + 3$

問3(文理共通)(ノブキ2)

(i)~(iv)をあわせ、①、②を満足する整数の組 $(x, y)$ の個数は

$$\begin{aligned} & \sum_{k=0}^n \{10(n-k)+1\} + \sum_{k=1}^n \{10(n-k)+7\} + \sum_{k=1}^n \{10(n-k)+5\} + \sum_{k=1}^n \{10(n-k)+3\} \\ &= (10n+1) + \sum_{k=1}^n \{10(n-k)+1+10(n-k)+7+10(n-k)+5+10(n-k)+3\} \\ &= 10n+1 + \sum_{k=1}^n \{40(n-k)+16\} \\ &= 10n+1 + 40 \{ (n-1)+(n-2)+\dots+1+0 \} + 16n \\ &= 10n+1 + 40 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n + 16n \\ &= \boxed{20} n^2 + \boxed{6} n + \boxed{1} \end{aligned} \quad \dots (2)(1)(答)$$

$M = 1$  となる

$$20 + 6 + 1 = \boxed{27} \quad \dots (2)(答)$$

【問 4】 (文系)

不等式  $(x-6)^2 + (y-4)^2 \leq 4$  を表す領域を  $D$  とすると、 $D$  は右図斜線部分 (境界含む) である。

円  $(x-6)^2 + (y-4)^2 = 4$  の中心を  $A$  とする。

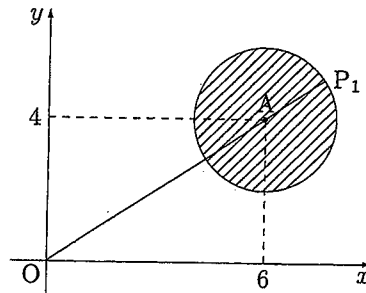
$x^2 + y^2 = k$  とすると  $k = OP^2$  であり、この最大値は  $P$  が右図の  $P_1$  のときで、

$$OP_1 = \sqrt{6^2 + 4^2} + 2 = 2\sqrt{13} + 2$$

より、 $x^2 + y^2$  の最大値は、

$$(2\sqrt{13} + 2)^2 = \boxed{56} + \boxed{8}\sqrt{13} \quad \dots \text{タチツ (答)}$$

ただし、 $P_1$  は円  $(x-6)^2 + (y-4)^2 = 4$  と直線  $OA$  との交点のうち、 $O$  から遠い方の点とする。



$\frac{y}{x} = m$  とすると  $y = mx$  となる。直線  $y = mx$  と点  $A$  との距離を  $d_1$  とすると、

$$d_1 = \frac{|6m - 4|}{\sqrt{m^2 + (-1)^2}}$$

直線  $y = mx$  と領域  $D$  が共有点を持つのは  $d_1 \leq 2$  のときより、

$$\begin{aligned} \frac{|6m - 4|}{\sqrt{m^2 + (-1)^2}} &\leq 2 \\ |3m - 2| &\leq \sqrt{m^2 + 1} \\ 9m^2 - 12m + 4 &\leq m^2 + 1 \\ 8m^2 - 12m + 3 &\leq 0 \\ \frac{3 - \sqrt{3}}{4} &\leq m \leq \frac{3 + \sqrt{3}}{4} \end{aligned}$$

以上から、求める最小値は  $\frac{\boxed{3} - \sqrt{\boxed{3}}}{\boxed{4}}$

... テトナ (答)

$x + y = l$  とする。直線  $x + y = l$  と点  $A$  との距離を  $d_2$  とすると、

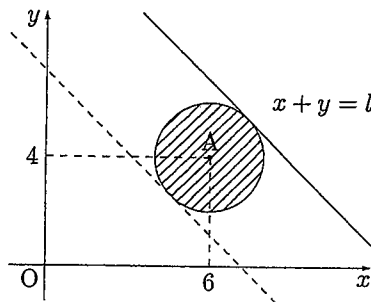
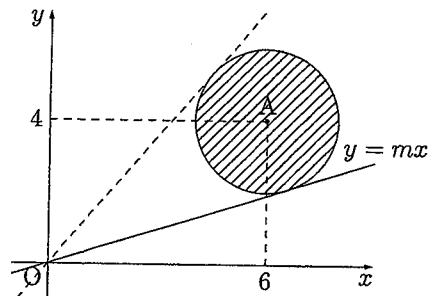
$$d_2 = \frac{|6 + 4 - l|}{\sqrt{1^2 + 1^2}} = \frac{|10 - l|}{\sqrt{2}}$$

直線  $x + y = l$  と領域  $D$  が共有点を持つのは  $d_2 \leq 2$  のときより、

$$\begin{aligned} \frac{|10 - l|}{\sqrt{2}} &\leq 2 \\ |10 - l| &\leq 2\sqrt{2} \\ -2\sqrt{2} &\leq 10 - l \leq 2\sqrt{2} \\ 10 - 2\sqrt{2} &\leq l \leq 10 + 2\sqrt{2} \end{aligned}$$

以上から、求める最大値は  $\boxed{10} + \boxed{2}\sqrt{\boxed{2}}$

... ニヌネ (答)





【問5】(文系)

円  $O_n$  の中心を  $X_n$ , 半径を  $r_n$ ,  $X_n$  から直線 PA に下ろした垂線の足を  $T_n$  とする.

このとき,  $X_{n+1}$  から直線  $X_n T_n$  に下ろした垂線の足を  $H_n$  とすると,

$$X_n X_{n+1} = r_{n+1}, X_n H_n = r_n - r_{n+1}$$

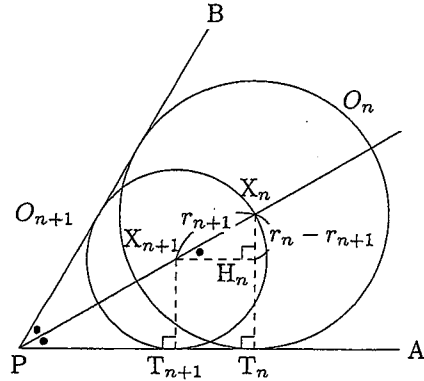
また,  $\angle X_n X_{n+1} H_n = \frac{\pi}{6}$  であるから,

$$X_n X_{n+1} : X_n H_n = 2 : 1$$

$$r_{n+1} : (r_n - r_{n+1}) = 2 : 1$$

$$r_{n+1} = 2(r_n - r_{n+1})$$

$$r_{n+1} = \frac{2}{3} r_n \quad \dots\dots \textcircled{1}$$



つまり,

$$\frac{r_n}{r_{n+1}} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}} \quad \dots \text{ノハ (答)}$$

①と  $r_1 = 2$  より  $r_k = 2 \cdot \left(\frac{2}{3}\right)^{k-1}$  となるから, 円  $O_k$  の面積は  $\pi r_k^2 = 4\pi \left(\frac{4}{9}\right)^{k-1}$  である. よって,

$$\begin{aligned} S_{10} &= \sum_{k=1}^{10} 4\pi \left(\frac{4}{9}\right)^{k-1} \\ &= 4\pi \sum_{k=1}^{10} \left(\frac{4}{9}\right)^{k-1} \\ &= 4\pi \cdot \frac{1 - \left(\frac{4}{9}\right)^{10}}{1 - \frac{4}{9}} \\ &= \frac{36}{5} \pi \left\{ 1 - \left(\frac{4}{9}\right)^{10} \right\} \end{aligned}$$

を得る. ここで,  $3.14 < \pi < 3.15$ ,  $\frac{4}{9} < \frac{1}{2}$  より,

$$\begin{cases} S_{10} < \frac{36\pi}{5} < \frac{36 \times 3.15}{5} = 22.68 \\ S_{10} > \frac{36\pi}{5} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{2}\right)^{10} \right\} > \frac{36 \times 3.14}{5} \times \frac{1023}{1024} > 22.5 \end{cases}$$

よって,  $S_{10}$  の整数部分は  $\boxed{22}$  ...ヒ (答)